



令和7年度

11月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和7年10月31日



三大幼 HPは
こちらから

偶然の出来事の面白さ

園長 安田 徳章

先日、気持ちのよい秋晴れの中、近隣の大島小松川公園まで徒歩遠足に出掛けました。公園内のわんさか広場では、どんぐりが量も種類も豊富で、こどもたちは形や色などの違いに気付きながら夢中になってどんぐりを拾っていました。

数日後、年長組の部屋にローマ字の B の形に見える小さいブロックを使った、長い一本道のどんぐり転がしコースが作られていました。以前、そのブロックを長くつなげて、くぼみの部分にビー玉を転がして遊んでいた経験を生かして、今度は拾ってきた様々な形、大きさのどんぐりを転がし始めました。4 m 近くある長いコースなので、なかなかゴールまで転がっていきません。年長児数人で、スタート位置の高さを変えたりコースを支える柱の高さを薄い板や段ボールを挟んで微調整したり、大きさや形の違うどんぐりを転がしてみたりして試行錯誤を繰り返していました。

ある時、ある幼児がスタート側を引っ張るようにしたところ、スタート近くを支えていたブロックの柱が倒れてしまい、コースが床に付く位の急な坂になってしまいました。坂の先のコースが少しだけ上り坂になって、いわゆるジェットコースターのような形になりました。それを見た時私は、「また直せば大丈夫」と単純に思いましたが、ある幼児が、そのコースのままどんぐりを転がしました。するとなんと、どんぐりがジェットコースターのように勢いよく滑り降りた後、そのまま坂を上りゴールまで進んでいきました。周りのみんなもびっくりです。これまで、スタート位置からゴールまで、少しずつ低くなっていくように、様々な物を使って微調整を繰り返してきましたが、偶然の出来事（ある意味、柱を倒してしまう失敗の事態）からコースの形が劇的に変わり目的を達成することができたのです！科学の世界でも、失敗から大発見につながった例がいくつもあります。まさに、偶然の出来事をプラスに変える発想の転換の素晴らしさ、面白さを目の当たりにし、こどもたちの試行錯誤の時間の豊かさを改めて実感する瞬間でした。

もうすぐ11月。これからも、様々な行事や活動と日常の遊びや生活とのつながりの中で、こどもたちの体験が豊かなものになるよう、日々の保育の充実を目指してまいります。



今月の指導のポイント



年中りんご組

さんだいスポーツフェスティバルの経験から、遊びの中で、年長児とダンスやリレーを楽しむ姿が見られています。ルールのある遊びやボールやフープなどを使った遊びを取り入れ、体を動かす楽しさを感じていけるようにします。

園外保育で集めたどんぐりに興味をもち、遊びに取り入れたり、落ち葉拾いや種集めをしたりして、自然の変化や不思議さに気付き始めている姿が見られます。引き続き、秋の自然に興味・関心をもち関わられるようにしていきます。

生活面では、昼食後の歯磨きや生活グループでお休み調べなど、新しいことにも取り組んでいます。片付けや身支度などについても、再度やり方を見直していき、自分なりに園生活の見通しをもち、身の回りのことに進んで取り組めるようになっていきます。

年長にじ組

さんだいスポーツフェスティバルでは、自分の力を発揮し、友達と力を合わせて取り組んだり、自分の目標に向けて挑戦したりし、達成感や満足感を味わうことができました。

園外保育で秋の身近な自然に触れることを楽しみ、拾ったどんぐりを遊びに取り入れ、試したり工夫したりしながら、転がすコースを作って遊んでいます。

年中児と一緒にリレーや鬼遊び、お店屋さんでやりとりをすることを楽しむ姿や優しく関わろうとする姿が見られています。

今月は遊びの中で、イメージをもってなりきったりストーリーを考えたりして、表現することを楽しみながら、こども会につなげていけるようにします。共通の目的に向かって友達と自分のイメージや考えを出し合い、協力して活動を進める楽しさや満足感を味わえるようにしていきます。